令和6年度 第1回 高知県国民健康保険運営協議会 会議録

■開催日時：令和6年8月16日（金） 15時から16時

■開催場所：高知共済会館 3階 藤

■出席委員：吉本委員、植野委員、久委員、依岡委員、小田切委員、宮野委員、内原委員、
寺田委員 計8名

※欠席3名（中間委員、西森委員、藤田委員）

■会議概要

○会議録確認委員の指名

- 高知県国民健康保険運営協議会運営要綱第5条第2項に基づき、内原委員及び宮野委員が会議録の確認委員として指名された。

○議題

1 第2期高知県国民健康保険運営方針の総括

▽事務局説明

[資料1]により、事務局が説明。

▽主な質疑応答・意見

(委員)

- 資料1、13ページの取組結果に「健康課題の抽出を行った」とあるが、どこかで確認が可能か。

(事務局)

- ◆ 昨年度に県が初めて策定し、公表している「高知県国保データヘルス計画」に結果を掲載している。これは、各市町村で行っていた保健事業や、健康課題の確認について、県全体の統一的な視点でとりまとめた計画である。

(委員)

- 将来推計について、今後、国保の加入者は減少傾向だと思うが、算定は、金額ベースなのか、新規加入者の状況などを踏まえた割合をベースとしたものなのか。

(事務局)

- ◆ 被保険者数や医療費の推移を参考に算定している。また、市町村からの要望もあり、毎年度推計を行う予定としている。医療費が極端にあがるような事案がおこると、推計も高くなる可能性がある。

(委員)

- 国保の加入者は減少する方向だが、かならずしも推計がどうなるかは不明という理解でよいか。

(事務局)

- ◆ よい。

(委員)

- 過去の未納分の取り扱いはどうなるか。

(事務局)

- ◆ 収納対策として、未納分も積極的に回収する取り組みをしている。仕方ないでは終わらないようにしている。

(委員)

- 保険料水準の統一に伴い、出産育児一時金は50万円、葬祭費が3万円とのことだが、葬祭にかかるコストも年々上がっている。
- 高知市は以前から3万円だが、死亡届や火葬の許可費用をまかなえる程度。少子化対策など、若い世代への支援も当然必要だがもう少し配慮してほしい。

(事務局)

- ◆ 葬祭費は、県内市町村において3万円から5万円と設定の幅があるが、現状、一番多いのが3万円の設定。後期高齢者医療制度でも3万円となっており、一般的に必要な葬祭費用や、保険料への影響など、全体のバランスをみてこの金額設定とした。

(委員)

- 令和12年度に完全統一の合意をしている点は、全国的にも進んでおり、実現に向けて動いてもらえればと思う。郡部ではすでに必要病床数を下回っていると聞いている。また、産科などでは中央部も含めて減少しており、他の診療科でも同様のことが起こりかねない。世帯構成と所得が同じであれば、県内どこでも同じ保険料とするのであれば、郡部を含めて医療提供体制を維持することが大事。
- 医療費適正化計画について、高齢化が進むと医療費も上昇すると思うが、上がり

幅の抑制が重要となる。これにより統一保険料が跳ね上がる可能性もある。また、方向性は不明だが、被用者保険の適用拡大に関する議論があり、場合によっては、所得のある被保険者の異動など、国保制度自体のあり方に影響する可能性もある。

- 第3期の国保運営方針が6年間 (R6～R12) というのが長いと感じた。統一保険料の推計も、やはり上がるのかという印象。

(事務局)

- ◆ 先ほどご意見があったように、将来的には被用者保険への異動などの要因もあると思うが、この推計は、現状のまま医療費が上がって行くとした場合の推計となっている。

(委員)

- 今回、資料として配付いただいた現在の県内国保料と統一保険料の推計は、協議会の度に提供いただきたい。また、各議題について、これまでの議論と今後の方向性を今回のように示していただけると、意見が出しやすいと思う。
- 統一保険料について、実際に被保険者が負担するのは金額的に厳しい印象。軽減措置などはあるだろうが、今後、被保険者が減少する中で、統一の見通しなどの説明があるとありがたい。
- 国保事業で、老後に入居可能な保養施設（病院併設など）のようなものは運営できないか。今後、高齢者の中には、様々な理由から自宅で生活することが難しいケースもあると思う。このような施設があれば大変ありがたい。

令和6年10月2日

会議録確認委員 内原 茂
宮野 伊知郎